明治四十一年創業　中山道高宮宿
tanakaya-communication
田中家通信
VOL. 37
株式会社 田中家石材
発行／株式会社 田中家石材
住所／彦根市高宮町1081
電話／0749(22)5888
HP●http://www.tanakaya-sekizai.com/
Mail●info@tanakaya-sekizai.com

八月十五日 お盆です。

お盆とは、ご先祖や身近な故人が帰ってきて一緒に楽しいひとときを過ごし、また帰っていくという日本古来の信仰に基づく行事です。特に家族みんなでお墓参りをし、故人の思い出を語り合うことは大変意義のあることで、**自分たちの先祖に対し、自然に手を合わすことを身を持って学ぶ良い機会です。お墓参りになかなか行けない人も、日頃の感謝の気持ちをご先祖に伝えましょう。**

ご先祖と親の恩

今に自分が存在するのは、我が身を生んでくれた父母がいて、先祖があるということだと思います。

人間は自分というものを一番大切にし自分を愛するもので、**どうして自分が存在しているのかを忘れがちです。そして、全ての人に先祖があり、両親がいる**という事実は否定できません。その**親に対して感謝の心を持つということは、当然のことであり、忘れてはならないこと**だと思います。

お寺のご本尊・お仙壇・お墓にお参りされる習慣をつけましょう。

『お墓・お仙壇に手を合わせ、先祖まつりを続けると……』

①「親族相互の連帯感」

お葬式をはじめ**仏事や先祖供養の習慣は、故人を偲ぶだけではなく、親戚同士のつながりを大切にしていく為にもある**のだと思います。

親族のお墓参りが相互に出来ることは幸せなことです。親族間の仲が良く、お互いに助け合い頼りにし合える存在となれば、より豊かな人生となることでしょう。

②「先祖を祀る意識の継承」

親に連れられて先祖のお墓参りを重ねた子供は、自然に先祖に手を合わせるようになり、愛情を持つようになるものです。

その愛情は、大人になった時にお墓を守っていきたいという意識に変わっていくものだと思います。

③「子供への躾（しつけ）と宗教的道徳」

尊敬される人に育てる為には、「躾（しつけ）」が大切だと考えます。

子供にとっての最高の躾（しつけ）は、良い面・悪い面すべて含めて「親の生き方」ではないでしょうか。

そんな「親の生き方」を示す一つとしてお正月・お盆・お彼岸にお墓参りへ行き、ご先祖様に手を合わす姿を子供に見せることは、宗教を通して道徳を教えられる良い機会になるのではないかと思います。

④「親の安定した老後」

ご年配の方は教わることの多い人生の大先輩です。

特に**一番身近な存在である両親に教わることはさらに多いと思います。**

教わることが多い分、感謝する機会も増えるので自然と親への「恩」を持つようになります。

親への「恩」が後に恩を返したい（恩送り）という気持ちへと変わり、同時に親の老後を大切に守っていきたいという想いに変わっていくのではないでしょうか。

⑤「先祖が美化され、故人の人格の高揚」

それぞれの世代の先祖は生きてきた中で、失敗も成功もあったでしょう。しかし**故人を崇拝することはそれがどんな歩みであったとしても、先祖が美化されなければ先祖崇拝は成り立ちません。**

私達が仏壇やお墓で供養する回数が多ければ多いほど、先祖の「恩」を感じる機会も増えます。それは先祖の人格を高めることへと繋がり、人格を高めた先祖はより子孫に良い影響を与え続けることでしょう。

⑥「地域社会の信用と安住」

世代を継いだ者が地域の人々の協力を得て社会貢献できた時、協力をいただいたという「恩」に報いる為に、地域や社会の奉仕活動に努め恩返しができるようになります。

社会への奉仕活動を続けることで自然に信用は高まっていき、その余慶を受けることで安定して次の世代へと継承することができるでしょう。**生まれた地で世代を重ねられることは、それだけ社会的信用が増していくもの**だと私は思います。

⑦「お墓は還る場所」

供養ごとを始めるのに早すぎるということはないと思います。

なぜなら**お墓は先祖が「極楽浄土」の「土」に還った場所であり、我々もいずれは「還る場所」**になるからです。「還る場所」には、子孫が天寿を全うすることを見守り、また待っている先祖がおられます。そんな**暖かな「還る場所」があると、安心して生活も仕事もできる**のではないかと思います。

『お墓を建てる時期』

お墓を建てる時期には一定の決まりはありませんが、**早い地域では、四十九日・百ヶ日。一般的には一周忌・三回忌・お盆・春秋の彼岸等の法要時**が多いです。

お墓をいつ建てるかは、時期ではなく、ご先祖様への供養の気持ちで建てるのが良いでしょう。

最近では生前に建てる方も多くなっています。**生前にお墓を建てることを「寿陵」といい、昔から縁起の良いこととされ「家運繁栄」を願って建てられました。**

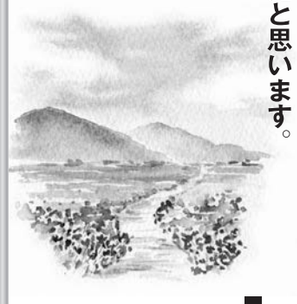
『故人にたいしての想い』

お墓の相談に来られるお客様の中には、「故人に対してもっと、こうしてあげればよかった」、「これを望んでいたのではないか」と後悔される方が少なからずおられますが、**仏に成られた故人は私達が何か出来なかったことに対して不満はなく、また望んでいるわけでもないと思うのです。**

私は、悲しまれておられるお客様にこのようにお話させていただいております。

「今ご自身の手の中に風船の紐があるとします。それは、亡くなられた方の魂です。その風船は天に昇ろうとしていますが、残された人達のそんな思いが故人の心配事となり、天国（極楽浄土）に行かれることを止めてしまいます。その手を開いて風船の紐を放してあげてください。天国（極楽浄土）に着かれた時に、必ずお客様を見守ってくださると思います。」

残された家族にできることは、前を向き日々の生活を一生懸命に生き、その姿を故人にみせ、安心してもらうことだと思います。



ワンポイントアドバイス！

「ロウソク立の下がぐらつくのですが……」というお問い合わせをいただくことがございます。

弊社からのワンポイントアドバイス！

ロウソク立ての風よけカバーを外す際には、ロウソク立ての根本を押えながら外してください。

長くお使いしていただけるかと思います！

日本で初めて「品質」「施工」保証書発行。お客様のニーズにお応えします。設計から納骨、開眼供養まで一生に一度の大切なお買い物だから安心できる価格をご提示。墓地・霊園のご紹介から手続きまでご相談ください。
●技術資格／厚生労働大臣認定　石積一級技能士　厚生労働大臣認定　石貼一級技能士　厚生労働大臣認定　石材加工一級技能士　◆松下電工労働組合加盟店　◆プリデストン生協加盟店　◆財務省印刷局彦根朝陽会加盟店